

標 題 : Mediterranean diet and nonalcoholic fatty liver disease.
地中海食事と 非アルコール性脂肪性肝疾患

著 者 : C. Anania, et al. (イタリア ローマ・ラ・サピエンツァ大学
ウンベルト1世総合病院)

掲 載 誌 : World J. Gastroenterol. 2018 May 21; 24(19): 2083-2094

要 旨 :

非アルコール性脂肪性肝疾患(NAFLD)は最もよく見られる慢性の肝疾患として出現しており、そして重症の肝疾患および肝硬変をもたらす可能性のある広範囲の脂肪肝疾患を特徴とする。

炎症および酸化ストレスが、NAFLDの原因に関与する主な危険因子である。現在のところ、NAFLDの薬物治療に関して意見の一致はない。

しかし、運動および質と量のバランスの取れた食事に基づく生活様式介入が、NAFLD管理の基盤と考えられる。

多価不飽和脂肪、ポリフェノール、ビタミンおよびカロテノイドが多くて、抗炎症作用および抗酸化作用のある地中海食事は、心臓血管系の危険因子を予防するのに有効と示唆されてきた。

成人で、地中海食事はメタボリックシンドロームのリスク低下にも有効と実証されてきた。

しかし、NAFLDの成人と小児の両方の被験者における地中海食事の効果に関して入手可能な研究は少ない。

従って、この叙述的な総説の目的は、NAFLDの患者における地中海食事の影響に関する現在の臨床的な証拠を解析すること、およびこの疾患に対する地中海食事成分の主な作用機構を要約することである。

キーワード : 成人、小児、地中海食事、非アルコール性脂肪性肝疾患
